

1. 令和4年度協会けんぽ保険料率と雇用保険料率の改定

全国健康保険協会管掌健康保険(以下、協会けんぽといいます)の被保険者の保険料率が、3月分(4月納付分)から改定されます。協会けんぽの保険料率は、平成21年から都道府県ごとに異なるものとなっています。都道府県ごとの保険料率を見ると、保険料率の最も高い都道府県は佐賀県の11.01%、最も低い都道府県は新潟県の9.51%で、引き下げが18都道府県、引き上げが29県です。東京都と近隣県の新しい保険料率は、別表をご覧ください。なお、健康保険の保険料率の改定に加えて、40歳以上65歳未満の介護保険の被保険者の保険料率も、1.89%から1.63%に変更されます。介護保険の保険料率は全国一律です。

雇用保険の保険料率は、この記事を書いている2月15日時点では法改正案ですが、閣議決定もされ改定は確定的です。一般の事業の現行の保険料率は0.9%(被保険者負担0.3%、事業主負担0.6%)ですが、4月からは0.95%(被保険者負担0.3%、事業主負担0.65%)、10月からは1.35%(被保険者負担0.5%、事業主負担0.85%)に段階的に引き上げられます。段階的引き上げは、コロナ禍での労使の負担感を踏まえた激変緩和措置としてのことですが、本音は別にあるようです。なお、労災保険の保険料率については、据え置きで令和3年度から変更はありません。

新健康保険料率

令和3年度 → 令和4年度	
東京都	9.84% → 9.81%
神奈川県	9.99% → 9.85%
埼玉県	9.80% → 9.71%
千葉県	9.79% → 9.76%



2. 夫婦共働きの健康保険の被扶養者の認定基準の一部改正

健康保険の被扶養者の主な認定要件は一定範囲内の親族で、認定対象者の年間収入が130万円未満(認定対象者が60歳以上の場合など180万円未満)であること、かつ被保険者の年間収入の2分の1未満であることが要件となります。夫婦共働きの場合は原則収入の高い方に被扶養者として認定することになっていますが、この認定基準について詳細に定める改正が昨年8月にありました(<https://www.mhlw.go.jp/hourei/doc/tsuchi/T210512S0010.pdf>)。年間収入の高低は前年分の年間収入で判断されていましたが、改正後は過去、現在、将来の収入を見込んで判断すること、年間収入の差額が1割以内である場合は、被扶養者の地位の安定を図るため、届出により、主として生計を維持するものの被扶養者とするようになりました。被扶養者の認定は保険者(健康保険組合)ごとに微妙に異なる運用を行なっていますが、被扶養者として不認定とする場合、不認定通知を発出しいずれの者の被扶養者とするか保険者同士で年間収入の算出根拠を明らかにして協議することとなりました。これまでは被扶養者認定において、「とりあえず年間収入の多い方の被扶養者とし、…」(昭和60年の通知)とされ、その後保険者間で協議するという運用で、保険者間での協議が整わない場合どうするかの指針がありませんでしたが、標準報酬月額の高比較や、標準報酬月額が同額の場合、生計を維持する被保険者を届け出ることとなりました。被保険者が育児休業中の場合の被扶養者認定も改正されています。例として夫婦間で妻の方の収入が夫より高い場合で、妻が育児休業を取得し、妻が得る育児休業給付金の額が夫の収入額を下回り、収入が夫婦間で逆転した場合、被扶養者を異動させる(妻の扶養に入っていた子を夫の扶養にする)ことを求めていましたが、育児休業期間中は被扶養者の地位安定のため特例的に被扶養者を異動しないこととなりました。

● 編集後記 ●

世界中がオミクロン株の流行が心配な中、冬季オリンピックも開催され、日本はメダルラッシュの中、無事終了しましたね。アスリートたちのひたむきに努力する姿勢にも胸を打たれました。選手の活躍と同じくらい話題になったオリンピックの公式キャラクター、パンダのモチーフのピン・ドゥン・ドゥン。「ピン」は氷、「ドゥン・ドゥン」は活発な子どもという意味だそうです。あの感動をもっと身近に感じたくて入手しようとネットで探してみましたが公式グッズはみつからず。北京でないと手に入れないそうです。残念。ちなみに赤色のマスコットはシュエ・ロン。パラリンピックのマスコットで、赤灯籠がモチーフだそうです。(秋山)



あおぞら人事・労務サポート
 特定社会保険労務士
 秋山幸子 (登録NO.13050514)
 三鷹市下連雀3-38-4
 三鷹産業プラザ307
 TEL:0422-24-8625
 FAX:0422-24-8605
 E-mail: info@aozora-sr.com
 URL: www.aozora-sr.com

責任編集: 社会保険労務士(武蔵野統括支部メンバー): 秋山・隅谷・安部・酒井・福岡・奥山